

メディアワールド



公開授業研究会

年に一度の授業研究会を行いました。今年は、東汲沢小学校の吉田圭一先生がご提案してくださいました。市の研修会をあげて、2度の指導案検討を行い、21世紀型コミュニケーション能力を高めるための授業デザインを会員みんなで模索してきました。クラスの雰囲気は温かく、寒さ深まる日々の中で、私たちの心を温かくしてくれる授業でした。

—指導案検討—

PCルームを使い、2～4人程度の小グループ（伝えたい内容ごとに構成）で授業が行われました。吉田勘兵衛のことを横浜歴史博物館のエドゥケーターの先生に、納得してもらえるようにプレゼン資料をつくる場面でした。つくっていく中で、自分たちの考えとなる資料を取り入れたり、見つけたりしながら子どもたち同士の学び合いが見られました。吉田勘兵衛の人柄や功績についてそれぞれのグループが自分たちの考えに沿って、プレゼン資料を作成する姿から真剣さや楽しさがとてもよく伝わってきました。

—研究協議会—

授業後に行われた研究協議会では、吉田先生の自評を受けて、「主張的コミュニケーション（討論・説得／納得）を図るための手立て（思考の共有・可視化、切実

感と相手意識、多様な資料とふれる必然性）は適切だったか？」

「教師による児童のコミュニケーション力の見とり、支援は適切だったか？」について活発に話し合い（ワークショップ型）を行いました。その中でも、特に話題に挙げたのが、前者の「主張的コミュニケーションを図るための手立て」についてでした。説得／納得というコミュニケーションの力を、子ども同士の討論の中で身につけさせることを目指すのか、エドゥケーターの先生へのプレゼンの際に意識させて身につけさせることを目指すのか、という部分において多くの意見が出ました。教師が意図的に、どの場面でコミュニケーション力の育成を図るのかをはっきりさせる必要性を出席者一同が感じた、活発な話し合いになりました。今回の吉田先生の貴重な授業提案を受けて、研究会としてもさらに研究を深め、子どものより良い学びと成長を実現していきたいと思っております。

—60年懇親会—

横浜市情報・視聴覚研究部設立60年の懇親会が、18：30より行われました。お忙しい中、多くのOBの先生、校長先生、副校長先生はじめ、たくさんの方がご出席くださいました。さまざまなお話の中から、研究会の歴史や多くの先生方が築き上げられてきたこの研究会の素晴らしさを改めて知る機会となりました。今後とも、本研究会がますます発展していくよう、私たち現役世代がより一層努力・邁進していかなくてはならないと、身の引き締まる思いになりました。



青葉区 奈良の丘小 武井三也
☎045(962)5391